学校番号	１００７

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新図説家庭基礎　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題について考え、理解を深め知識を身につけます。ワークショップ形式や演習等をとおして友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習をとおして、科学的な理解に基づいた確かな技能を身につけます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人の一生と家族・家庭及び福祉、社会とのかかわりや生活自立のための衣食住、環境に配慮した消費生活などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
家庭や地域・社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうと実践しようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭及び福祉、社会とのかかわりや衣食住・消費・環境などについて、基礎的・基本的な知識を理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	人生を見とおして、家庭や地域、社会とのかかわりにおける生活の中の諸問題から課題を設定し、その解決をめざして思考・判断と工夫を凝らした実践に取り組む。さらに実践の評価・改善・考察を多様な視点から的確に表現し、課題解決する力を身につけている。	よりよい社会と生活の構築に向けて、課題解決に主体的に取り組んでいる。また、その振り返りおよび改善により、地域社会に参画しようとする。さまざまな人と協働するとともに、自分や家庭、地域の生活充実向上を図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ学期	自分らしい生き方と家族	○自分らしい生き方と家族 ・生涯発達する人生 ・青年期を生きる ・現代の家族	a:家族・家庭の意義や役割、その中での自分の生き方、各ライフステージとライフイベントについて理解することができる。 b:自立へ向けての発達課題発見と自分のライフコースについて思考・判断することができる。 c:自分らしい生き方、家族形態、職業労働などについて、現在および近い将来の自分事という意識をもって、積極的に学習に臨んでいる。	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・作品製作 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・作品製作 ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・レポート
	衣生活をつくる	○持続可能な衣生活をつくる ・環境に配慮した衣生活 ・被服製作実習	a:・環境に配慮した衣服材料、衣服管理と整理について基礎的な知識を理解できる。 ・被服の製作をとおして、基礎・基本の縫製技術技能が身についている。 b: ・衣服管理において適切な判断ができる。 ・自己表現豊かな被服製作作品になるよう、思考・工夫できている。 c:被服製作実習に意欲的に取り組んでいる。	・授業観察 ・被服製作実習 ・作品製作 ・定期考査	・授業観察 ・実習レポート ・作品製作 ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・実習レポート

2学期	衣食住の生活をつくる	○衣生活をつくる ・人と衣服のかかわり ・健康で安全な衣服 ・衣服の素材 ・衣服の管理 ○食生活をつくる ・私たちの食生活と健康 ・五大栄養素 ・食品の選択・表示と安全性 ・環境に配慮した食生活 ・献立作成と調理実習 ○住生活をつくる ・人と住まいのかかわり ・平面計画からみた住空間 ・ライフステージと住まいの計画 ・安全、健康に配慮した住まい ・持続可能な住まい	a:・衣服の機能、健康と安全に配慮した着装と衣服材料、衣服管理と整理について基礎的な知識を理解できる。 ・衣服および食品購入の際に表示から必要な情報を読み取り、適切に選択することができる。 ・現代の食生活の傾向、栄養および栄養素の働きとからだのつながりについて、基礎的な知識を理解できる。 ・調理実習をとおして、基礎・基本の調理技術技能が身についている。 ・住まいの機能や生活様式、地域の住まい文化、住まいの維持・管理方法などについて理解できる。 b:・快適な衣服とはどのような着心地か考え、表現することができる。 ・健康的な食生活を送るために、何が必要か理解を深めようとしている。 ・すべての人にとって住みやすい住環境について深く理解し、平面図や不動産資料から正しく情報を読み取り、意思決定や判断ができる。 c:・ワークや演習、実験・実習などに積極的に参加しようとしている。 ・自分の現在の衣食住各生活を振り返り、課題を見つけ改善に向けて積極的に取り組もうとしている。	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・演習・実験・実習 ・定期考査	・授業観察 ・演習・実験・実習の各レポート ・発表 ・グループワーク ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・レポート

	共生社会と福祉	○子どもとかかわる ・乳幼児期の心身の発達 ・子どもの生活と遊び ・健やかに育つ環境と支援 ・親になることを考える	a:・誕生から幼児期までの心身の発達について理解する。 ・発達段階に応じた子どもの生活習慣や遊びの重要性について、理解できる。 ・家庭保育・集団保育の重要性を理解できる。 b:・子どもの発達に対して、どのようなかかわり方がよいか考えようとしている。 ・子育ての環境や支援策・課題と子どもの福祉などについて情報を収集し、まとめることができる。 c: ・発達段階に応じた簡単な児童文化財を製作しようとしている。 ・自分の現在・将来と結びつけながら考え、学習しようとしている。	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・作品製作実習 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・作品製作実習レポート ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・レポート
3学期	消費生活	○消費行動を考える ・経済的に自立する ・契約と主体的な消費行動 ・消費者の権利・責任と消費者を守る制度・法律 ・持続可能な社会をめざす取り組み	a:・消費者であることを自覚し、契約の基本的なしくみが理解できる。 ・家計の構成や、収入と支出の特徴が理解できる。 ・多様化する販売および支払い方法について理解し、問題のある商法や多重債務等の予防・対処方法の知識が身についている。 b:・生活情報を収集し、環境にも配慮した適切な消費行動を考えて判断し、意思決定できる。 ・家計の収支や消費者信用について深く考え、計画的にお金を貯める・使う判断ができる。 c: ・ワークや演習、実習などに積極的に参加しようとしている。 ・家庭生活において資源や環境に配慮した消費行動を、自分の現在・将来と結びつけながら考え、学習しようとしている。	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク、演習・実習 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク、演習・実習 ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・レポート

	共生社会と福祉	○高齢者とかかわる ○社会とかかわる ・高齢社会に生きる ・高齢者を知る ・高齢者のサポートと介護の心 ・共に生きるために ・社会の一員としての私たちの役割	a:・加齢に伴う心身の変化や特徴について理解し、個人差があることも理解できる。 ・統計などにより高齢社会が進むことについて、理解できる。 ・支えあう社会づくりの重要性を理解できる。 ・安全で効率的な介助の基本の仕方について理解し、その技術が身についている。 b:・高齢期について自分と結びつけながら考えようとしている。 ・地域の福祉について課題を設定し、自分にできることは何かを深く考え、まとめることができる。 c: ・ワークや演習、実習などに積極的に参加しようとしている。 ・自分や家族のこと、自分たちが暮らす地域のことと結びつけながら考え、学習しようとしている。	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・演習、実習 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・発表 ・グループワーク ・演習、実習レポート ・定期考査	・授業観察 ・自己評価 ・相互評価 ・ワークシート ・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度